

保育計画成果報告書

法人名	社会福祉法人 柏松会
施設名	愛子すぎのこども園
報告者（役職）	小野 恵 （園長）
住所・連絡先	宮城県仙台市青葉区下愛子横町前 45-1 TEL 022-797-7811 Gmail 2015ayashi@gmail.com

○タイトル（保育計画）

心で！体で！感じる素敵な音楽会！

○主な助成備品

・和太鼓 ・オルガン ・大太鼓 ・鉄琴 ・木琴 ・トーンチャイム
・コンサートバスドラムセット ・ミュージックパッド ・シンバル

1. 実施した保育計画策定の目的

愛子すぎのこども園では、特別支援児のお子さんと一緒に生活をしています。お互いに刺激を受けながら、思いやりの心や助け合いの心、寄り添う心等も育まれています。保育の主活動の内容は、みんなが楽しく参加できるよう工夫をしながら日々、過ごしています。活動の内容によっては、特別支援児のお子さんの参加が難しいと感じるところもありましたが、様々な活動の中で、楽器遊びを取り入れた時には、楽器から出る様々な音に興味を持ち笑顔で楽しむ姿がありました。音の出る不思議さや響きに心も落ち着いたので、その後の活動にも気持ちよく参加することができていました。普段、園では、楽器は大切なものなので、しまっておくことが多く、活動の際に準備をしてから子どもたちと楽しむ状況でしたが、子どもたちの手の届くところに楽器がおいてあると、いつでも楽器遊びが楽しめるのではないかと思います。また、楽器から出る音に子どもたちの心も落ち着いて、友だちと一緒に楽しく活動ができる、異年齢の友だちとも楽しめるのではないかと思います。みんなが笑顔で言葉だけでなく楽器を通して交流を楽しんでいきたいと思い保育計画を策定しました。

2. 具体的な実施内容

みんなの目に留まるよう、コーナー遊びの中に楽器を準備し、いつでも楽器に触れられる環境を作っていました。



《小さいクラスは、音を聞いてリズム遊びから始めました》

2歳児クラスです。保育教諭の弾く音に合わせて、体で表現遊び（リズム遊び）を楽しみます。毎日、楽しむことで、ひとつの音を聞くだけでどんな動きなのかがわかるようになりました。



《ミュージックパッドを使って音を楽しむ》

楽器は楽器でも、踏んで音が出るので子どもたちも楽器になじみやすいです。

遊びながら全身を使い、自然と楽器を鳴らすことができるので、年齢に関係なく音楽を楽しみ、自然と楽器に触れることができます。



《いろいろな楽器に触れる》

ミュージックパッドから、様々な楽器に興味を持ち始め、子どもたちから積極的にいろいろな楽器に触れるようになりました。音の違い（高低・楽器特有の音）に気づき、大きな音・小さな音が出ることにも興味を示しています。一人から二人、二人から三人とどんどん仲間が増えていきました。



《好きな楽器を使って遊ぶ》

自分の好きな楽器を自由に鳴らし、友だちと音を出し合って楽しめます。
音の響きに楽しくなり、自由な演奏会が始まっていきます。



3. その成果と評価

好きな楽器を見つける、触ってみる、音を出してみようというように段階を踏んで、楽器に慣れるようにしていったことで、子どもたちも無理なく楽しむことができました。

楽器をいつでも触れられるようにしたことで、自然と楽器の周りに集まり、好きなように鳴らしたり、ピアノに合わせて演奏したりと子ども同士で音楽会ごっこを楽しむ姿がありました。毎日、楽しむことで大きいクラスの子どもたちが小さいクラスの子どもたちに自然と優しくしたり、朝に分離できないお子さんも楽器の音を聞いてスムーズに離れられたり、気持ちが落ちつかないときにも楽器の音色に心が安定する様子が見られました。

楽器を通して、音を出す、音の違い、音色、響き、そして引き寄せられるように集まってくる子どもたち。言葉はなくても仲間の存在を大切に思う姿や、子どもたちの笑顔に心の成長を感じることができ、予想以上の結果になったように思います。



4. 今後の課題と展望

今年度はいつでも楽器に触れられるようにしてきたことで、子どもたちも楽器に興味を持ち、音の出る楽しさを体感することができました。朝、登園した際に気持ちの落ち着かないお子さんも、楽器の音や楽器を鳴らすことで心が落ち着き笑顔で1日を過ごすことができていました。楽器を通して、子どもたちが音楽や音に合わせて体を動かし自分を表現することの楽しさ、友だちと一緒にやってみたい！と挑戦する力、頑張ろうとする力がつきました。

今後は、さらに楽器の置き方などもう少し環境面を工夫し、楽器遊びを通して「楽器は楽しい」「音楽は楽しい」という心の安定、「表現することの楽しさ」「友だちと共感する心」を育てていきたいと思えます。

以上